

TOYOTA
SPORTS 800 GR
CONCEPT



すべては、
この1台から
始まった。

トヨタ初の市販スポーツカー。
TOYOTA SPORTS 800。通称ヨタハチ。
開発責任者の長谷川龍雄は、元航空機の設計士だった。
総戦を迎え、飛ばせなかった飛行機への想いを
この一台のスポーツカーにぶつけた。
当時としては画期的な風洞実験を行い空気抵抗を限界まで抑え、
日本で初めて外板にアルミを採用するなど徹底的に軽量化を図った。
1966年、第1回鈴鹿500kmレース。ライバルの強豪マシンに比べ
非力なヨタハチに勝ち目はないと言われた。
しかし、結果は圧勝だった。ライバルたちが給油する中、
ヨタハチは一度もピットに寄らず500kmを駆け抜けた。
タンクにはまだ30%近くの燃料が残っていた。
あれから、半世紀。今、トヨタに新たなスポーツカーの砲撃が
響こうとしている。しかし、原点の想いは変わらない。
燃費が良くて、ハンドリングに優れ、長時間乗っても疲れないクルマ。
レースに勝てる品質と、誰もが手が届く価格を兼ね備えたクルマ。
「過去、現在、未来。夢は何処にでもある。長谷川龍雄」
新時代のスポーツカーたちは、僕らにどんな夢を見せてくれるのだろう。

TOYOTA GAZOO Racing が生んだ
スポーツカーブランド GR 始動。

IGNITE.

